

## 総合計画に係る意見公募内容

意 見 内 容	回 答	担 当 課	計 画 へ の 反 映
<p>◎意見1 (P73) ○政策5 歴史・文化の継承とスポーツの振興</p> <p>① 旧文化センターの土地を如何にするか話題になっているので、意見を申し上げます。本建物の場所は旧女学校、その後中村高校南校舎で私はここに入学した。旧文化センターは来年取り壊される為、その後に、美術館及び歴史館を建てられることを希望します。(絵画、写真、書、工芸と中村の偉人を顕彰) やなりこの土地は文化的なものに使われるべきと考えます。決定するまで、緑の公園として保存するのも一案です。</p> <p>② 小京都中村は一条教房公が作った(といつてもいい)という歴史があり、願うれば、街の建物等が京都のような家並みになればいいか、国づくり100年の計の元旦にしてもよいかと思います。内子町、信州奈良井宿等の家並みの復活を100年～300年で作られては如何か。</p>	<p>① 旧文化センター跡地につきましては、具体的な利活用方針が定まっていないため、計画への記載は差し控えさせていただきます。いただきましたご意見を含めまして、今後の利活用方針を検討していきたいと考えております。</p> <p>② 四万十市中村が一条教房公により京都を模したまちづくりが行われ、「土佐の小京都」と呼ばれた歴史は、本市の重要な財産であると認識しており、「政策9 抱点都市機能の充実 施策24 にぎわいのある市街地の形成」において、「土佐の小京都」としての魅力向上への取り組みが求められている旨を記載しております。</p> <p>しかしながら、昭和の南海地震等によりその面影は失われ、ご提案の内子町や信州奈良井宿のような、家並み全体を一から再構築していくことは大変難しい側面もございます。</p> <p>今回の計画策定を、小京都の四万十市が持つ歴史・文化について再認識する機会とし、引き続き地域と共に小京都の街並みについて考え、持続的に取り組んでいくことは重要であると考えております。</p>	<p>生涯学習課 まちづくり課</p>	